

令和5年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会 会議録

日 時：令和5年10月31日（火）15時～16時30分

会 場：瑞浪市化石博物館 別館研修室

出席者 <協議会委員> 中山 京三（社会教育関係者）  
                                大路 樹生（学識経験のある者）※オンライン参加  
                                松岡 敬二（学識経験のある者）（会長）  
                                西尾 京子（家庭教育の向上に資する活動を行う者）  
                                加納 礼爾（学校教育関係者）  
<事務局>                  水野 義康（館長）・安藤 佑介

1 あいさつ

館長より開催の挨拶がなされた（内容は省略）。

2 報告事項

令和5年度事業中間報告

1) 普及活動の充実

・②講座等の開催

委 員：受講者数が定員を下回る講座もあるが、原因は何か。

事務局：ほとんどの講座は定員に達したが、当日の体調不良などでキャンセルが相次いだ講座もあった。

委 員：博物館の規模にしては講座の種類や実施回数が多い。定期的  
に開催数や定員を見直してほしい。

事務局：これまでも、実施する講座の内容や定員、参加費を定期的  
に見直してきた。今後も定期的に行う予定である。

委 員：化石検定が開催されたが、化石博物館はどのように関わった  
のか。高校生が化石に関わる機会の創設にもなるため、今後も  
積極的に行ってほしい。

事務局：活動の主体はミライ創ろまい課であり、市民協働課が後援し  
ている。化石博物館は学芸員が問題の監修や相談を行うなど、  
オブザーバーとして協力した。来年は本試験を行い、化石博  
物館が主体となって開催する。ミライ創ろまい課や市役所と  
も連携し、より良い内容にしたい。

・④学校等教育機関との連携について

委 員：以前よりも化石博物館を利用する学校が増えたと思う。呼び  
込みを行った結果だと思うので、一過性ではなく継続して行  
ってほしい。

事務局：来年もぜひやりたいという意見がある。今後も出前講座等の呼びかけを行っていききたい。

### 3 協議事項

令和6年度事業計画について

#### 1) 普及活動の充実

##### ・②講座等の開催

委員：令和6年度は実施する事業が多い、講座の数を減らした方が良いと思われる。

事務局：講座については、定員等を見直した。また、国民文化祭の開催時期を外して講座を開催する予定である。

#### 3) その他

##### ・①文化施設再編について

委員：市の総合計画に新博物館建設の旨をしっかりと明記してほしい。全く動いていないように思える。

事務局：現在担当部局と調整などを行っている。今後は総合計画に掲載できるように働きかけていきたい。

##### ・②化石博物館の改修について

委員：スケジュールは決まっているのか。

事務局：実施する場合、令和7年の1～2月を予定している。

##### ・④展示室の改装について

委員：改修工事との関係は調整しているのか。

事務局：改修工事と同時期に実施できるように調整している。

委員：展示改装の業者選定はどのようにするのか。最近プロポーザルを行う博物館も多い。

事務局：予算が確定次第、どのような方法が最も適切か検討する。

委員：今後の博物館の目玉展示になると期待される。絶滅した動物にはロマンがあり、注目度も高い。ぜひ良い展示を計画してほしい。

事務局：クラウドファンディングでも大勢の方から寄附金をいただき、期待されていると実感している。復元骨格模型も含め、こだわったものを作りたいと考えている。